

11月 熊本市で開催 革新的な取り組みで 地方から世界に挑戦 九州未来アワード

ファイナリスト8社・2大学を紹介

独創的、革新的な取り組みで地域や九州経済に貢献する事業者をたたえる「第3回九州未来アワード～Asian Perspective（視野・展望）～」(熊本日日新聞社など九州7新聞社主催)。企業・団体部門に九州各県から26社のエントリーがあり、審査で選ばれた8社が、11月8日に熊本市で開かれる本大会で大賞（アワード）を目指しプレゼンテーションで競い合う。学生起業アイデア部門には2大学の学生が挑む。それぞれの手法で未来を切り開くファイナリストたちを紹介する。

学生起業アイデア部門



佐賀大学「Day Dry」の代表・近藤美咲さん



崇城大学「Ciamo」のリーダー・古賀碧さん

九州経済の発展を目指して発表したい。近藤代し若者のアイデアを発掘する「学生起業アイデア部門」。5大学18チームから応募があり、佐賀大学大学院「Day Dry」と崇城大学生物生命学部「Ciamo（シアモ）」が最終審査に残った。本大会でプレゼンテーションを行う。

ぬれた洗濯物がすぐ乾く。部屋干しの嫌なおいを防ぐ促進剤を考え「Day Dry」。佐賀大大学院工学系研究科の近藤美咲さん、中村駿介さんのチームだ。街頭調査でニーズがあることを確かめ、研究室の実験器具で開発中だ。「試作品はまだだが、自信を持つ

「Ciamo」は、焼酎かすによる光合成細菌の培養に成功した。光合成細菌は主に農業の有機肥料や水産業の水質管理に用いられるが、高価なのが難点。廃棄処理される焼酎かすを用いると原価を抑えられることに目を付けた。「熊本の産業発展に役に立てば」とリーダーの古賀碧（あおい）さん。「東南アジアのエビ養殖用に向けて商品化を進める」という。

佳作には、農作物の人工授粉装置を考案した崇城大学「Pollena」が選ばれた。

本大会プレゼンへ

佐賀大（佐賀県） 崇城大（熊本県）

第3回 九州未来アワード

日時／11月8日(火) 12時40分開会(18時終了予定)

会場／ホテル日航熊本(熊本市中央区上通町2-1)

プログラム

- | | |
|---|---|
| <p>第1部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基調講演
米倉 誠一郎氏
(九州未来アワード審査員長、一橋大学イノベーション研究センター教授) ○ゲストトーク
齋藤 三氏
(中小機構九州本部長) ○プレゼンテーション審査
学生起業アイデア部門(2チーム) <p>第2部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○プレゼンテーション審査
企業・団体部門(8社) | <p>第3部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別ステージ <ul style="list-style-type: none"> ●入江 康雄氏
(第2回地方創生・地域振興部門大賞、炭化 代表取締役社長) ●荻野 次信氏
(第2回国際事業・インバウンド観光部門大賞、教育情報サービス 代表取締役社長) ●白石 美嘉氏
(第2回学生起業アイデア部門大賞、崇城大学生物生命学部 UNIT) ○学生起業アイデア部門 審査発表 表彰式、全体講評 ○企業・団体部門 審査発表 審査員講評、表彰式 ○審査員長総評 |
|---|---|

- 主催：【九州未来アワード実行委員会】熊本日日新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、長崎新聞社、大分合同新聞社、宮崎日日新聞社、南日本新聞社
- 後援：経済産業省九州経済産業局、九州商工会議所連合会、九州生産性本部、九州経済調査協会・BIZCOLI、九州経済同友会、九州経済連合会、熊本県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県
- 協賛：旭化成、中小機構九州、明治、ライオン
- 協力：日本能率協会総合研究所、ミュージックセキュリティーズ